

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ウ	安定した工業用水・エネルギーの提供	施策	① 工業用水・エネルギーの安定的確保の促進
			施策の小項目名	○工業用水道施設の整備
主な取組	工業用水道施設整備事業			
対応する主な課題	①島嶼県である本県において工業用水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたる断水の発生が予測されることから、老朽化施設の計画的な更新、耐震化を進めていく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
島嶼県である本県において、工業用水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたる断水が危惧されることから、更新に合わせて耐震化を推進する。		導水トンネル改良の工事・設計				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	企業局配水管理課		【098-866-2810】			
		工業用水道施設の更新・耐震化				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 沖縄工業用水道事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
									一括交付金(ハード)	直接実施
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	

様式1(主な取組)

活動指標名	工業用水の給水能力				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	30,000m <sup>3</sup> /日	30,000m <sup>3</sup> /日	30,000m <sup>3</sup> /日	30,000m <sup>3</sup> /日	30,000m <sup>3</sup> /日	30,000m <sup>3</sup> /日	100.0%	39,289	順調	東系列導水路トンネル改築工事、配水管整備(設計)を実施した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										R2年度の県内工業用水の給水能力は、30,000m <sup>3</sup> /日と計画値を達成しており、取組は順調である。 老朽化した工業用水道施設の計画的な更新あ耐震化を推進することで、低廉な工業用水を安定的に供給することができる。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)の手法を活用して、東系列導水路トンネル改築工事やうるま市石川赤崎地内配水管工事(設計を含む)などの施設整備を計画的に行う。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>アセットマネジメント(資産管理)の手法を活用した上で老朽化施設の計画的な更新に取り組むとともに、施設の保全、点検を適切に行うことで施設の状態を把握し、優先順位をつけて施設整備計画に反映させた。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ 本土復帰後に建設が進められた工業用水道施設の経年化が進み、今後大量に更新時期を迎えるため、優先順位をつけて改築を進める必要がある。

##### ○外部環境の変化

・ 島嶼県である本県において工業用水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難なため、広範囲かつ長期にわたって断水が危惧されることから、災害に強い工業用水道施設の視点から施設の耐震化を推進していく必要がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 基幹施設である東系列導水路トンネル、久志浄水場、久志～石川導水管の改築は、期間を要することから、計画的な工事の執行に努める。

### 4 取組の改善案 (Action)

・ R2年度は東系列導水路トンネル改築工事を行っており、引き続き水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)の手法を活用して、東系列導水路トンネル改築工事などを計画的に行う。